

## 第1回上信越高原国立公園須坂・高山地域管理計画検討準備会議の内容

## (1)会議の概要

開催日時	平成24年11月13日(火) 9:35~12:10
開催場所	長野市生涯学習センター第1学習室
議題	○本事業の概要(説明)      ○これまでの経緯と今後の予定 ○管理計画改定の方向性の検討

## (2)会議の結果(主な意見)

テーマ	主な意見
本事業の概要について	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ イタリアやイギリスの国立公園は、地域制自然公園という制度であり、いろいろな協議体を作ってそこで計画なり、管理運営などの有り方を検討しているが、こうした世界的に評価されている方向性が、日本でも始まったと認識している。</li> <li>■ 今回は、須坂および高山の地域単位の協議組織で進めるが、須坂と高山がそれぞれに隣接する他地域と統合するような区域設定に関する協議は、今後の検討課題である。</li> </ul>
これまでの経緯と今後の予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参考資料-8「国立公園における協働型運営体制のあり方検討会—中間取りまとめ—」で、総合型協議会の役割に①国立公園における環境省の所管する事務の範囲内の事項、②国立公園内における環境省の所管する事務の範囲外の事項(地域振興や保全など)、③国立公園区域外における措置にかかわる事項の3つレベルがあるが、①にウェイトを置くのではなく、①②③を均等に提案するのがよいのではないかと。</li> <li>■ 国立公園の中の議論に留まらず、国立公園の外の議論も行い、管理計画改訂を足がかりとして、地元との関係を作り、地域の人と連携して何かできないだろうかという段階である。(環境省)</li> <li>■ 国立公園と格式ばらず地元の人をもっと山に入っていただくことが基本で、この機会だからこそ地元呼び掛けて一緒にやれる場を作ることが重要である。</li> <li>■ 自然保護にも多少のお金はかかるので、市民の方々の理解とともに行政も自然保護方策を進めることが、協働型管理運営の課題のひとつである。</li> <li>■ 計画はつくるが予算がつかないという現状があり、地元行政としてはあまり期待していないところがある。</li> </ul>
管理計画改定の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ エコパークの協議会を立ち上げる予定があり、高山村も地域設定していきたいという方向性がある。志賀高原と繋がっているので、将来的に山ノ内町との連携は有りうる。</li> <li>■ 地域連携会議では将来目標を作り、準備会議では保護と利用のバランスを考慮して管理計画に落とし込むというやり方かどうか。</li> </ul>